



オリーブ便り Olive News

2021.03.01

No.441



香川大学 医学部附属病院 香川県木田郡三木町池戸1750-1 発行人/病院長 田宮 隆

基本
理念

患者さんの権利を尊重し、良質・安全な医療を提供するとともに、医学の教育・研究を推進し、医療の発展に寄与します。

退職挨拶

香川大学医学部附属病院 手術部長 臼杵 尚志



自分の中ではつい最近香川大学に赴任した気がしますが、いつしか26年が過ぎていました。手術部への配属からも17年ですので、開院からの37年半に比し半分近い期間のようです。配属の前年度に3558件であった手術件数が昨年度は6512件、看護師数も22名から48名ですので、随分大きな変化の中にいたことになりませんが、これには2003年のDPC制度開始や2004年の国立大学法人化といった社会の動きが関わっています。また、医師研修システムの改新や医療安全・個人情報管理に関わる世情の移り変わりへの対応、そして何より鏡視下手術・ロボット支援手術・ナビゲーション手術・ハイブリッド手術など手術自体の変容にも沿う必要があり、このため手術部が保有するME機器の総額は直近の10年間に12.5億円からその倍以上(除、リース機器)に増加しています。在職中のトピックとしては、まず2007年の起案から完成まで10年を要した再開発が挙げられます。果たしてどれ程の時間をその企画や議論に費やしたか計算もできませんが、最も労力を要したのは各職種、個々職員からの少しずつ異なった、しかし強い思いと患者さんサイドからの視点を含めてのギャップの調整だったかも知れません。もう一つは2017年の全国国立大学手術部会議の主催でしょうか。幾つかの学会開催と同様かそれ以上に、自分や自分の属している組織がいかに多くの方々の力で支えられているかを痛感した貴重な経験でした。一方で私が手術部や本院に充分貢献できたかは全く自信がありません。一所懸命に務めたつもりではあることと、自分の経験を余すことなく引き継がせていただくことでお許しいただきたく思います。長い間大変お世話になりました。ありがとうございました。

退職にあたって

香川大学医学部附属病院 検査部 臨床検査技師長 荒井 健



昭和58年4月に新卒で香川医科大学医学部附属病院に入職以来、38年に渡りお世話になりました。就職当時を振り返ると、当然かもしれませんが現在では考えられないような事が数多くあり、大変懐かしく思い出されます。10月に附属病院が開院するまでの半年間は検査伝票の作成、必要備品のリストアップなどの事務仕事や、導入された検査機器・検査システムのトレーニングなど、開院に向けての準備作業を行うという貴重な経験をさせていただきました。当初の臨床検査技師は10名で、6部署のうち半分は一人しかいないという状況でした。外来患者がそれほど多くなく、病棟も西病棟だけの331床であったので対応できたのだらうと思います。当直業務は自宅待機している担当者をポケットベルで呼び出す宅直で、夜中に呼び出されたり1日に2、3回呼ばれたりすることもありました。土曜日は半日勤務で外来も行われており、休日は日曜・祝日と土曜日は月に1回、交代で休みが割り振られていました。平成16年に国立大学法人となって以降、休日勤務の代休が取れるようになったり当直明けが休みになったりして、勤務環境は随分良くなったと思います。

さて、今から2、30年後の香川大学医学部附属病院そして検査部はどのようなになっているのでしょうか。38年前は、今のようなインターネットを用いた情報化時代が来るとは全く考えてもいませんでした。今後は、AIやロボットの導入によって、医療も想像以上に大きく変化してくるかもしれません。来るべき新時代の医療がどのように変わっていくのか、期待を持って見守りたいと思います。最後に、皆様の今後ますますのご活躍を祈念申し上げます。

退職挨拶

香川大学医学部附属病院 看護師長 真鍋 恵美



香川大学医学部附属病院での看護師としての37年間の勤務を終えようとしています。この間、多くの患者さんや職員の方々からたくさんのことを学ばせて頂きました。そしてたくさんの方に支えられたことに心より感謝いたします。たくさんの方々と出会ったことが、私の一番の財産です。

患者さんとの関わりの中で、多職種チームで関わることで患者さんの生活の質が上がり、より生活がしやすくなるよう支援できるようになったと思います。特に排尿に関しては、あたり前のことが、当たり前でできないことをもどかしく思っている患者さんと向き合うこと、「その人らしく生活していけるためには、大切にしていることは」などを話し合いながら、少しでも生活の質が向上する関わりを持つことで患者さんから喜びの声を聞き、チームみんなの喜びにかわりました。一人ではできないことも、チームで力を発揮することで何倍もの知恵やアイデアが出され、患者さんにより良いものが提供されることを実感することができました。香川大学医学部附属病院で学んだことを大切に、次に一步を踏み出したいと思います。いつも力を貸して下さいました皆様へ、心よりありがとうございました。

最後になりましたが香川大学医学部附属病院のますますの発展と、皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

退職挨拶

香川大学医学部附属病院 看護師長 上井 悦子



令和3年3月末で定年を迎えます。昭和58年10月病院開設から37年間お世話になりました。これまで看護師の仕事をとおして出会った患者さんをはじめ、職員・関係者の皆様へ心から感謝申し上げます。手術室勤務で始まった私の看護師人生は手術室勤務で終えることとなりました。再開発のまただ中に手術部師長として着任して手術棟開設準備に携わり、2016年に無事開設した時のことはいよいよ先日のように思い出されます。すべてがはじめてのことで試行錯誤の連続でしたが、多くの方々との協力して準備した経験は私の宝物となっています。手術医療はどんどん進歩し複雑化してきています。大学病院として良質な医療が提供できるよう、専門的知識・技術を持ち、患者さんに寄り添った温かみのある看護を提供し続けていただけますようお願いしております。最後にオリーブ便りへの原稿執筆を通して38年間の看護師人生を思い返す機会を与えて下さったことに感謝し、当院のますますの発展と皆様のご健勝をお祈りいたします。



「左から 上井師長 真鍋師長 中妻師長」

日日是好日 皆様への感謝

香川大学医学部附属病院 看護師長 中妻 征子



昭和58年10月病院開設時から30年あまりお世話になり令和3年3月末日をもちまして退職となりました。長きにわたり公私共々ご指導、ご支援いただきました職場の皆様へ深くお礼申し上げます。

入職時にはこれほど長く勤務するとは夢にも思いませんでしたが、今思い返せば充実した毎日で束の間であったようにも感じます。東病棟、南病棟の開設、救命救急センターの開設、GCU病棟の開設と節目には何かしらのご縁に関わらせて頂き、新しいものを創る困難さと挑戦する楽しさを味わいました。

その中でも、安全管理部での仕事は私の後々の業務や私自身の人生観を左右するものとなりました。五里霧中の私は、当時安全管室室長であった横見瀬教授に事あるごとにご指導を頂き、組織の中での自分の立場や役割を考えるようになりました。そして医療安全を推進するプロセスでは、担当者のみでの努力ではなく職種や業種を問わず病院職員を始め学生、他施設の皆様の助力があってこそその成果であると考え至りました。

今年度はCOVID-19感染症対応に追われた記憶に残る年となりましたが、日日是好日皆様へ心から感謝申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

定年を迎えて

香川大学医学部附属病院 臨床栄養部 調理師長 米本 旭良



昭和58年5月、香川大学医学部附属病院(当時は香川医科大学)開設に合わせて採用となり、37年間勤務させていただきました。この令和3年3月末で定年を迎えることとなりました。

当時は、医事課の給食係として導入する器具や機材の準備、検討を夜遅くまで行ったこと、湧水による水不足で取水制限により通常の調理ができず献立を変更することになりその影響で、今まで使用していた食器からディスプレイ食器に変更し回収方法までの全てが変わり、戸惑いながらも協力し合い当時の仲間と乗り越えたことを懐かしく思います。

あれから37年、時代の流れと共に病院の再開発に伴い、医事課の給食係から栄養管理室、その後現在の臨床栄養部へとリニューアルされました。

振り返ってみて、専門調理師の資格を取得し、臨床栄養部に配属されたこと、また香川大学医学部附属病院に勤めたことに誇りを持ち、やりがいのある良い職業だと感じております。

現在の先の見えない厳しい状況の中で、これからの医療に関わる方々が忙しくともやりがいを感じる仕事に携わっているという誇り、喜びを感じられますよう香川大学医学部附属病院の益々の発展と皆様のご健勝を祈念し、定年退職の挨拶とさせていただきます。

 **イキイキさぬき健康塾**
香川大学医学部附属病院 医療セミナー



詳しくはこちら

遠隔ロボットを使った四国水族館見学会を実施しました

香川大学医学部附属病院 東病棟2階 看護師長 平木 久美子

2020年12月17日(木)に入院中の子どもたちが遠隔ロボット(コミュニケーションロボットオリヒメ)を使い、病室から四国水族館の見学を行いました。香川大学医学部の学生がボランティアで参加しているNPO法人未来ISSEYの協力を得て、オリヒメを使ってイルカやカワウソ、クラゲやカニなどをライブで見ることができました。

子どもたちは「わーおさかなさん。かわいい」とはしゃいだり、大好きなカワウソの写真を撮ったり、終わったあと「もっと見たかった」と涙を流したりしていました。当日、発熱していた子も楽しみにしていて、最後まで参加することができました。ほんのひとつきでしたが、長期に入院し、病気と闘っている子どもたちとご家族にとって、素敵で楽しい時間となりました。



臨床研究に関するご案内

香川大学医学部

倫理委員会委員長

治験審査委員会委員長

香川大学医学部附属病院

臨床研究審査委員会委員長

香川大学医学部附属病院では、診療に伴って取得した患者さんの貴重な個人情報を含む記録や尿・血液等の検査試料、生検組織(内視鏡検査で検査のために採取した組織等)又は摘出組織等の試料が発生します。

それら記録試料等を本院は、医療機関としてだけでなく、教育研究機関として所定の目的に利用させていただきたいと思っておりますので、患者さんのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

前向き研究(研究を立案、開始してから新たに生じる事象について調査する研究)に患者さんの情報を利用する場合は、書面により患者さんの同意をいただくことといたします。後向き研究(過去の事象について調査する研究)の場合は下記URLに示しております。

利用目的の中に同意しがたいものがある場合は、1階外来ロビー内個人情報相談窓口または各診療科までお申し出ください。特段のお申し出がない場合は、上記の利用目的のために患者さんの個人情報を利用することに対して同意が得られたものとさせていただきます。

臨床研究に関するご案内URL

<http://www.med.kagawa-u.ac.jp/hosp/about/rinsyo/>

イベントカレンダー 2021.3~2021.4月 予定表

月日	場所	名称及び内容	担当	連絡先
—	—	—	—	—

イキイキさぬき健康塾は新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を鑑み、**2021年3月末まで中止**とさせていただきます。新しい日程が決まり次第改めてご案内申し上げます。

編集委員会 (50音順)

(2021年2月現在)

阿部(看護)、荒井(検査)、井町(外来)、樫原(管理)、小坂(薬剤)、筒井(経営企画)、常森(病棟)、仁尾(医療支援)、前川(医事)、南野(副病院長)、門田(放射線)、横井(医療情報)、横川(総務) [委員長 田宮病院長]